

科目名	日本史A	単位数	2	必修選択	選択
教科書	日本史A 現代からの歴史(東京書籍) 地歴高等地図 ー現代世界とその歴史的背景ー(帝国書院)				
副教材	新詳日本史(浜島書店) 日本史Aワークノート(東京書籍)				

教科・科目の内容

「日本史A」では主に近代・現代の歴史を中心に、現在の日本がどのようにして形成されてきたのかを考察する科目です。近代の開始は、幕末の開国です。現在の日本という国家や国民がいかんして形成されてきたかを学びます。

日常生活や将来とのつながり

歴史は過去のことだから関係ない、と思っていませんか。歴史は現代社会と大いに関係があります。例えば、アメリカ軍基地が日本国内になぜあるのか、中国や韓国と対立がおこってしまうのはなぜなのか、世界でテロが起こるのはなぜなのか。これらは、歴史を知らずして理解することはできません。歴史は日常の積み重ねです。それを知ることによって現代社会の問題点を考え、答えを出していくのが私たちの役割です。特に近現代史は今の生活に直接関わることが少なくありません。まもなく主権者になる皆さんにとって、とても大切な科目と言えます。

この授業の学習方法(予習と授業の関わり)

まず、授業ノート(プリント)をしっかりとみましょう。授業で大切なことは、「なぜ？」を見つけ、答えを考えることです。先生の話の聞いたり、自分でまとめたりするとき、「なぜ？」という視点を持ち、用語の関連を考えながら整理していくことで、歴史的考察力が身につく、単なる暗記科目ではなくなります。また、予習として10分でもいいので、授業の前に教科書を読んでおくと、その日の授業の理解度が違います。その他、小テストや様々な学習ツール(ブレスト・KJ法・ウェビング・メモリーツリーなど)を利用して、授業内容を毎日少しずつ整理することが効果的です。

到達目標

我が国の近現代の歴史の展開を諸資料に基づき地理的条件や世界の歴史と関連付け、現代の諸課題に着目して考察させることによって、歴史的思考力を培い、国際社会に主体的に生きる日本国民としての自覚と資質を養う。

評価の観点(評価方法)

① 関心・意欲・態度(行動観察・ワークシート・ノート)

我が国の近現代の歴史の展開に対する関心と課題意識を高め、意欲的に追究し、国際社会に主体的に生き、国家・社会を形成する日本国民としての責任を果たそうとする。

② 思考・判断・表現(行動観察・ワークシート・ノート・定期試験)

我が国の近現代の歴史の展開から課題を見だし、国際環境と関連付けて多面的・多角的に考察し、国際社会の変化を踏まえ公正に判断して、その過程や結果を適切に表現している。

③ 資料活用・技能(ワークシート・ノート・定期試験)

我が国の近現代の歴史の展開に関する諸資料を収集し、有用な情報を適切に選択して、読み取ったり図表などにまとめたりしている。

④ 知識・理解(小テスト・定期試験)

我が国の近現代の歴史の展開についての基本的な事柄を、国際環境と関連付けて理解し、その知識を身に付けている。

指導学年	科目名	単位数	教科書名(出版社)	副教材名
2年	日本史A	2	日本史A 現代からの歴史 (東京書籍) 地歴高等地図 ー現代世界とその歴史的背景ー(帝国書院)	新詳日本史(浜島書店) 日本史Aワークノート(東京書籍)

学期	学習内容	主な学習活動(指導内容)と評価のポイント	評価の観点			
			関	思	技	知
一学期	序章 私たちの時代と歴史	・教科書に掲載されている地図、詩、写真等の諸資料を参考にしてグローバル化する現在の国際情勢とその課題を考察する。	○	○	○	○
	第1章 近代日本の形成	・開国と幕府の滅亡、明治新政府の成立と諸改革について、諸外国との関係にも注目しながら考察する。	○	○	○	○
	※ 中間試験			○	○	○
	第2章 東アジア世界の変動と日本	・自由民権運動、憲法の成立、初期議会の展開の過程を理解することで、立憲政体がいかにして成立したかを考察する。 ・日清・日露戦争が起こった背景と過程、その後の外交政策について、以後の政治への関わりを踏まえて考察する。	○	○	○	○
二学期	※ 期末試験			○	○	○
	第3章 二つの世界大戦と日本	・第一次世界大戦が起こった背景と日本の関わりについて考察する。 ・日中戦争が起こった背景を理解し、第二次世界大戦に発展していく過程について、国際社会との関わりに注目しながら考察する。	○	○	○	○
	※ 中間試験			○	○	○
	第4章 第二次世界大戦後の国際社会と日本	・連合国による占領政策と新憲法の成立を初めとする諸改革について、冷戦による国際社会の変化を踏まえて考察する。 ・主権を回復した後、55年体制と高度経済成長により、日本が経済大国として成長する過程を理解し、日本の国際的な役割の変化を考察する。	○	○	○	○
三学期	※ 期末試験			○	○	○
	第5章 現代の世界と日本	・四大公害病など高度経済成長のひずみを理解するとともに、経済成長後の国内政治・経済の変化を国際社会との関係を踏まえて考察する。 ・冷戦終結後の過程を理解しながら、現代日本の抱える諸課題について考察する。	○	○	○	○
	※ 学年末試験			○	○	○

備考	
----	--